



江東区総合防災訓練での広報活動

東京地本江東出張所（所長 鴨川 康二 三等海佐）は八月二十六日（日）、江東区都立木場公園多目的広場において実施された平成三十年度江東区総合防災訓練において、募集相談員連絡協議会江東支部の中坪氏や東京都隊友会江東支部松下氏などと協力して自衛隊の広報活動を実施した。

本防災訓練は、江東区が主催となり首都直下地震により江東区内で被害が発生したことを想定し、五つの会場で区民と江東区・防災関係機関等が相互の連携をするために実施され、当該会場では、自衛隊、消防署、消防団、警察署、医師会などの防災関係機関による救出救護訓練、社会基盤の応急復旧訓練、防災普及啓発コーナー等が実施された。

江東出張所では、様々な訓練が目の前で実施される場所に広報ブースを設置して、気温が三十五度を超える猛暑の中、立ち寄った区民等に対して災害派遣活動で使用された装備を紹介するパネル展示、自衛隊の冊子等を配布して自衛隊の広報を積極的に実施した。

イベントに来ていた来場者からは「私の親族にも自衛官となり、充実した毎日をご過ごしている者がいます。皆様、これからも頑張ってください。」との激励や「私は看護学生ですが、人を助ける仕事している自衛隊は凄いいと思います。」とコメントがあった。

東京地本江東出張所では今後も地域に密着した広報活動を各自治体、協力者等と連携を図りながら、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高めていきたい。



浅草雷門前でトウチ君が盆踊り

東京地本台東出張所（所長 紺野 稔 一等陸尉）は九月八日（土）、浅草寺（台東区）の雷門前の並木通りで実施された「雷門盆踊り〜夢灯籠〜」において第一普通科連隊第五中隊の支援を受けて自衛隊の広報活動を実施した。

当イベントは、地元商店会が主催し、「雷門の前で踊ろう」をコンセプトとして昨年からの開催されており、浅草自衛隊協力会からの協力依頼を受け、今年初めて台東出張所が広報ブースを出展した。

会場には墨田川の源流の埼玉県皆野町から「秩父音頭まつり」で使用したやぐらや秋田県湯沢市の夏を彩る数々の「絵どろろ」が設置されるなど盆踊りが始まる前から家族連れや地域の住民等で大賑わいとなっていた。

広報ブースでは、立ち寄った来場者に対して広報官が自衛官募集PR用のうちわや自衛隊のパンフレット等を配布し、「知り合いに自衛隊に興味がある方がいたら是非紹介してください」と呼びかけ、下町に登場した自衛隊の軽装甲機動車及び高機動車の展示に来場者は「かっこいい」と言って記念撮影をしたり、体験試乗に長い列を作っていた。

盆踊りでは、東京地本マスコット「トウチ君」が広報ブースから雷門前までの間の往復約四百メートルを踊り歩くとその周辺には多くの見物客で人だかりができ、盆踊りを大いに盛り上げた。

来場者からは「ここで自衛隊を見ることができるとは思わなかった。」「ありがとう、がんばって下さい。」等の声をいただき所望の成果を得ることができた。

東京地本台東出張所では今後も地域に密着した募集・広報活動を協力者、部隊等と連携しながら実施して、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、自衛官募集業務に繋げるとしている。

